



阿武隈川は洋々と

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 伊具郡丸森町雁歌51
電話 0224-72-2020 FAX 0224-72-1322
ホームページアドレス <http://igu.myswan.ed.jp/>

伊具高祭開催 ～伊具高生で町を元気に～

12月20日(金)に校内発表、21日(土)に一般公開の日程で、「伊具高祭」を開催しました。10月26日に予定していましたが、台風19号の被災により延期していました。校内発表では、全校製作の公開からスタートし、書道部のパフォーマンス、有志団体のダンス、仮装コンテストなどで盛り上がりました。21日の一般公開では、農場の被害が大きく、例年農場で収穫した農産物の販売は叶いませんでしたが、工夫を凝らしながら生徒たちは精一杯明るく元気に取り組みました。

伊具高校生で丸森町を元気にしようと実行委員会を中心に生徒会、各クラス、部活動、農学・機械・情報・福祉の各系列で模擬店や研究発表、作品展示を行いました。体育館の模擬店では大勢の方々に御来校いただき、おもてなしの心で迎えることが出来ました。PTAの皆さんによる甘酒とおしるこのコーナーも設けられました。角田市のシンガーソングライターのカーヤさんのライブも行われ会場は大いに盛り上がりました。



謹賀新年

本校は今年創立100周年を迎え、11月6日(金)に創立100周年記念式典を挙行いたします。保護者の皆様、同窓生の皆様、地域の皆様の御理解と御支援を頂戴しながら、地域に貢献できる生徒の育成を目指して教育活動に取り組んで参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 高橋 光弘

まちづくりゼミ プランターバトンプロジェクト

12月16日(月)に丸森町ふれあいパークを中心に農学系列の3年次生とまちづくりゼミのボランティア生徒たちで約60ヶ所の商店にビオラを植えたメッセージ付きのプランターを配付しました。

丸森町教育委員会の志教育(「人とかがわかる」「よりよい生き方をもとめる」「社会での役割をはたす」)の3観点を実践した取り組みです。町の皆さんとふれあい、農学系列で作製したプランターで商店街を明るくし、郷土愛を育むことを目的に行いました。

生徒たちはひとつひとつを商店の方に、町を明るく元気になることを伝えながら手渡していました。当日6時台のミヤテレで報道され、黒田楽人さんのインタビューでは「町を花で綺麗に飾り、少しでも元気になればと思いを込めて渡しました」と話していました。



○丸森・もりもり伊具高魅力化講演会開催○

12月23日(月)に本校第二体育館で講演会を開催しました。今年度取り組んでいる魅力ある県立高校づくり支援事業(高校教育課)により「丸森・もりもり伊具高校魅力化プロジェクト」の講演会で、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームの本宮理恵さんに島根県から来ていただき講話をいただきました。テーマは「若者×地域の挑戦～地域の未来を共に創る～」で、1. 自分の未来を自分でつくる話、2. 地域と関わることで高校生の成長～島根県の高校の取組事例～、3. 地域と学校をつなぐヒント①コーディネーターという存在 ②学びの土壌づくり の内容でした。魅力化に取り組んだ高校生の社会意識や社会変革効力感が高まっているデータ、町がまずあるのではなくその前に自分がいることが大切であり、まちづくりの前に自分の未来を自分でつくるのが大切であることなどお話いただきました。コーディネーターだけでなく、地域の大人、教職員が生徒たちにとって大切な学びの土壌を作り、耕さなければならないことも話されました。



生徒の皆さんの感想(一部)を紹介します。

○私にとってこの1年はたくさんの人たちとふれあえた1年だと思っています。台風の被害によって、壊れかけた町も今では少しずつ復活してきているのは、地元だけでなく他県からの人々によって復活できたので、自分も「たくさんの方で支える」という行動をやらなければならないと思いました。そして改めてこの町の魅力について少しでも多く気づけたと思いました。

(市川千咲さん)

○地域とは何かと言われて、「丸森」や「日本」、「宮城県」と考えていましたが、「地域はみんなの集合体」とのことですごく納得できました。自分の未来を自分でつくるのが生きるための力であり、いろいろな人と関わることで、地域が作られていくことを学びました。自分も誰かに影響されたように、私も誰かに影響を与えられるような人間になりたいと思いました。

(高橋徳波さん)

○隠岐島前高校の話聞いて自分たちの高校の魅力は何か、どうすれば魅力が伝わるかなどを生徒、教員が一丸となって考えれば奇跡は起きるのだなと思いました。高校の魅力が町全体の魅力になったり、他人の魅力を見つける、組み込むことができれば、伊具高校はもっとよりよい学校になっていくのではないかなと思いました。(八巻一斗さん)

○「地域と共に助け合う」という話はよく耳にしますが、地域とは何かということを考えることはなかったのが、改めて考えるきっかけになりました。私は中学校時代の部活動の先生に出会ったことで私の将来の夢、自分の視野が広がりました。出会う人、その人にももらった言葉で自分の人生が変わるのは確かだと思いました。自分が言っている、話している言葉がその人の人生を変えようと思うと、言葉遣いや内容をもっと少し考えて話さないといけないなと考えさせられました。

(高橋徳乃佳さん)

○私はまちづくりゼミで地域活性化に向けてのプロジェクトを考えているので、自分にも関係がある話だと思いながら聞いていました。「自分の未来がなければ地域の未来はない」という言葉が印象に残りました。少子化の現代社会の中、若者の私たちが行動を起こさなければいけないんだと感じました。「行動」が地域と自分の未来を変えていくのだなと感動しました。

(伊藤真奈さん)